

第122号

# ひこね 市議会だより



鳥居本中学校の生徒たちが  
資源回収に参加しました  
(6月9日開催)

平成25年5月臨時会 (5月20日)

平成25年6月定例会 (6月10日~6月26日)

- 議会で決まったこと …………… 2~7
- 個人質問 …………… 8~13
- お知らせ …………… 14

# — 決定しました —

5月臨時会で議長、副議長、各委員会委員の選任等を行いました。  
平成25年の委員会構成は下記のとおりです。



監査委員  
渡辺史郎議員



議長  
谷口典隆議員



副議長  
安藤 博議員

## ◇委員会の構成◇

(平成25年6月20日現在)

企画総務消防常任委員会 (企画、財政、税務、総務、消防などを審査しています)	◎田中 滋康 ○安居 正倫	安藤 博 徳永ひで子	安澤 勝 野村 郁雄	矢吹 安子 西川 正義
福祉病院教育常任委員会 (福祉、病院、教育などを審査しています)	◎小川喜三郎 ○山田多津子	渡辺 史郎 有馬 裕次	前川 春夫 辻 真理子	杉本 君江 北川 元気
市民産業建設常任委員会 (民生、保険年金、産業、建設、上下水道などを審査しています)	◎北村 收 ○宮田 茂雄	上杉 正敏 谷口 典隆	馬場 和子 赤井 康彦	八木 嘉之 山内 善男
予算特別委員会	◎徳永ひで子 ○馬場 和子 赤井 康彦	杉本 君江 辻 真理子 安澤 勝	八木 嘉之 山内 善男 北村 收	宮田 茂雄 渡辺 史郎 小川喜三郎
議会改革特別委員会	◎八木 嘉之 ○安澤 勝	安居 正倫 有馬 裕次	宮田 茂雄 山内 善男	北川 元気 徳永ひで子
議会運営委員会	◎西川 正義 ○赤井 康彦	安居 正倫 小川喜三郎	宮田 茂雄	
議会報編集委員会	◎安澤 勝 ○上杉 正敏	小川喜三郎 山田多津子	安居 正倫 渡辺 史郎	辻 真理子
議会情報公開調整委員会	◎杉本 君江 ○八木 嘉之	赤井 康彦 渡辺 史郎	前川 春夫	
議会開放推進委員会	◎有馬 裕次 ○山田多津子	徳永ひで子 安澤 勝	北村 收 西川 正義	矢吹 安子 野村 郁雄

※ ◎=委員長、○=副委員長

# 5月臨時会 6月定例会 の結果

5月臨時会では  
予算1件、条例3件、その他議案3件のいずれも原案  
のとおり可決、承認しました。

6月定例会では  
予算5件、条例3件、その他議案8件のうち、予算1  
件は修正可決、条例1件は否決、その他は原案のと  
おり可決しました。請願は2件提出され、採決の結果不  
採択としました。

## 彦根市子ども・子育て会議条例



(※イメージ画像)

急速な少子化の進行、家庭および地域を  
取り巻く環境の変化に伴い、一人ひとりの  
子どもが健やかに成長することができる社  
会の実現が求められています。

国では子どもや子どもを養育している者  
に必要な子ども・子育て支援に係る給付、  
その他の支援が総合的に提供されるよう新  
たに法律が制定されました。

本市においても、子ども・子育て支援給  
付を創設する等の措置を講ずる必要があり、  
条例を定めたものです。

## 高規格救急車を 1台増車、1台更新

現在、消防署本署および各分署に高度な救命処置が可能となる高  
度救命処置用資機材を積載した高規格救急車を配備し、救急隊4隊  
体制で運用しています。

救急需要の増大に伴い、全隊が出動している場合は救急隊が現場  
へ到着する時間が遅延する事案が増加しています。そのため消防署  
本署に高規格救急車を新たに1台配備し、救急隊5隊体制で運用し  
ます。

また、犬上分署の高規格救急車は配備から10年が経過し、車両  
等の劣化が認められることから更新します。

これらのことにより、市民の救急要請に的確に応え、救命効果の  
向上を図るものです。



高規格救急車の内部

風しん予防接種費用を助成  
約400万円

昨年末から、風しんが全国的に流行しています。  
市では、19歳以上で妊娠を予定または希望する女性、および妊婦の配偶者に対して予防接種費用の2分の1（上限5,000円）を助成するものです。



各学校・園の体育館等の  
耐震状況を点検  
約790万円

東日本大震災において、建築構造体（体育館等）でない天井材や照明器具等の非構造部材落下等により、大きな被害をうけた施設があったことから、国からの通知を受けて、災害時における児童・生徒・園児および利用者の安全を確保するため、小学校・幼稚園の耐震状況を点検する費用です。



民間保育所の保育士確保へ  
約3,380万円

民間保育所における保育士の人材確保を推進する一環として、保育士の処遇改善を図るために保育所の運営費の委託料を約3%上乘せして交付するものです。



東日本大震災被災地の  
児童・生徒を支援  
約540万円

福島第一原子力発電所の事故により、未だ避難生活を余儀なくされている福島県富岡町の小中学生および保護者を8月に3日間彦根市へ招待します。主な活動として、荒神山自然の家での宿泊体験や市内の児童・生徒と交流し、のびのびとした時間を過ごしてもらうとともに、市内の児童・生徒の防災・安全意識を高める指導につなげるものです。



## 5月臨時会の議決結果

議案番号	件 名	結果
議案第51号	専決処分につき承認を求めることについて(平成24年度(2012年度)彦根市一般会計補正予算(第8号))	承認
議案第52号	専決処分につき承認を求めることについて(彦根市市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第53号	専決処分につき承認を求めることについて(彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第54号	専決処分につき承認を求めることについて(彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認
議案第55号	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第56号	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
報告第6号	市営住宅の管理上必要な和解について	—
報告第7号	市営住宅の管理上必要な和解について	—
報告第8号	市営住宅の管理上必要な和解について	—
報告第9号	損害賠償の額の決定について	—
報告第10号	和解および損害賠償の額の決定について	—
会議案第1号	彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案	可決

## 6月定例会の議決結果

議案番号	件 名	結果
議案第57号	平成25年度(2013年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	修正可決
議案第58号	平成25年度(2013年度)彦根市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第59号	平成25年度(2013年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第60号	平成25年度(2013年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第61号	彦根市子ども・子育て会議条例案	可決
議案第62号	平成25年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	否決
議案第63号	彦根市土地開発公社の解散につき議決を求めることについて	可決
議案第64号	第三セクター等改革推進債の起債に係る許可の申請につき議決を求めることについて	可決
議案第65号	琵琶湖流域下水道協議会の設置に関する協議につき議決を求めることについて	可決
議案第66号	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決
議案第67号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第68号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第69号	和解をすることにつき議決を求めることについて	可決
議案第70号	平成25年度(2013年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第71号	彦根市職員の給与の特例に関する条例案	可決
会議案第2号 (議案第57号関連)	平成25年度(2013年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)修正案	可決
報告第11号	平成24年度(2012年度)彦根市土地開発公社の決算状況について	—
報告第12号	平成25年度(2013年度)彦根市土地開発公社の事業計画について	—
報告第13号	平成25年度(2013年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について	—
報告第14号	第26期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について	—
報告第15号	第17期株式会社夢京橋の事業計画について	—
報告第16号	第11期株式会社四番町スクエアの事業計画について	—
報告第17号	平成24年度(2012年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について	—
報告第18号	平成24年度(2012年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて	—
報告第19号	和解および損害賠償の額の決定について	—
報告第20号	損害賠償の額の決定について	—

## 市民産業建設常任委員会報告

### 県と関係市町が共同で琵琶湖流域下水道協議会を設置

市民産業建設常任委員会は、6月21日に委員会を開催し、2件の議案、2件の請願について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第65号、第69号
- ・請願第4号 子どもの医療費を中学校卒業まで完全無料にすることを求める請願
- ・請願第5号 「慰安婦は必要」発言に抗議し、撤回と謝罪を求めるとともに橋下大阪市長の即時辞任について意見書提出を求める請願

#### 【主な内容】

○請願第4号に対して、反対の立場から、本市の財政状況は実質公債費比率が18%から14%近くになつた段階である。施策は市民にとって意義があるが、現状ではまだ議論する時期ではない。年齢を引き上げるとコンビニ受診が増える懸念もあり、財源を圧迫し、医師不足にもつながるといった意見があった。

○請願第5号に対しては、賛成の立場から、日本維新の会の橋下共同代表の発言は内外から大きな批判が来ている。このような態度で政治に参加する資格はない。もはや公人たる資格はないので賛成する。反対の立場からは、今回の発言は本人自身が解決する問題で公の議会が言うことではないので反対するといった意見があった。

#### 【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第4号、請願第5号 いずれも不採択

## 企画総務消防常任委員会報告

### 市長等給与の根拠のない削減に反対

企画総務消防常任委員会は、6月21日、26日に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

- ・議案第62号、第63号、第64号、第66号、第67号、第68号、第71号

#### 【主な内容】

○議案第62号については、反対の立場から市長選での公約を実現するという強い思いは理解するが、削減率及び削減することによる効果について明確な答弁がされていないこと。3月定例会で特別職の給料を減額する議案が可決され、それ以降新たに削減率を増やす要因が見つからないこと。さらに、副市長・教育長の削減率からすると従来の給料月額が逆転すること。特別職報酬等審議会の答申を尊重することについて疑義が生じるなどの意見があった。

○議案第67号については、賛成の立場から救急救命士の養成には多額のお金がかかるが、人の命は金銭に代えることはできない。高規格救急自動車を新たに1台配備し、救急隊の出動体制を1隊増やすことに消防本部の努力をたたえる。市民の安全を守るために活動していただきたいといった意見があった。

#### 【結果】

- ・議案第62号 否決
- ・議案第63号・第64号・第66号・第67号、第68号および第71号の6件はいずれも原案のとおり可決

## 福祉病院教育常任委員会報告

### 彦根市子ども・子育て会議条例を制定

福祉病院教育常任委員会は、6月24日に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第61号

#### 【主な内容】

○子ども・子育て会議の20人の委員構成とその理由について質問され、以下の答弁があった。

- ・事業主を代表する者として、ワークライフバランス等の意見を反映させるための経営の代表者
- ・労働者の立場で、仕事と家庭、仕事と子育ての両立等の意見を反映させるための労働者の代表の方
- ・教育・保育施設や地域の子育て支援に携わる方の現場の意見等を反映させるための、NPOや保育園、幼稚園、小中高校などを想定
- ・その他市長が適当と認める者として、地域支援に携わっている方（民生委員等）や母子保健、児童虐待に関わっている方

○20人の委員の割り振りについて質問され、事業主を代表する者、労働者を代表する者はそれぞれ1人くらいで、それ以外の委員は均等に割り振る。

○子ども・子育て会議はいつ頃から動き出すかを質問され、計画を平成26年度中に策定する必要がある、7月には委員を選考し、8月には第1回目の会議を開きたいといった答弁があった。

#### 【結果】

・原案のとおり可決

### 議会改革特別委員会中間報告

委員会では、彦根市議会基本条例素案について、協議しました。

まず、5月13日に開催された全員協議会において、全議員に対し、彦根市議会基本条例素案および趣旨解説案について説明を行い、会派および議員から質問・意見を聴取しました。

集約した質問・意見は53件あり、本委員会において各委員から質問・意見の趣旨について説明を受けました。

なお、素案作成時の議論に係るものについては、前期議会基本条例プロジェクトチームであった委員から説明を受け、また、全議員への報告については、5月31日に開催の全員協議会において行うことで、異議なく了承されました。

次に、その他の項目として、彦根市議会基本条例素案に対する専門家からの意見聴取を行うことにつき、異議なく了承されました。また、本委員会としては、専門家を招いた議会基本条例についての検討は、全議員の研修会という形で行うべきことを確認しました。

有馬 裕次

**Q** 校内駐車場の認識不足  
何故できない

**Q** 東中学校教職員の校内駐車が解消しない理由は。  
**A** やむを得ず駐車しており、十分安全に配慮している。  
**Q** 他の市所有地に駐車している市内全中学校・園の駐車台数は。  
**A** 655台を目的外で許可。教職員の校内駐車に係る事故事件の検証は。  
**A** 現時点では報告なし。  
**Q** 少数だが、自費で駐車場を確保している教職員との差は。  
**A** 市全体での対応と同一歩調で。校内駐車を止める権限は教育委員会が校長か。  
**A** 教育委員会と考える。  
**Q** 校内駐車で最悪の事態が発生した時の責任は。  
**A** 一概にどこにあるのか言えず司法判断となる。  
**Q** 意識改革が必要では。  
**A** は。極めて重く認識する。



▲校内駐車の様子

**A** 児童生徒の安全確保指導を徹底させる

**Q** 前市長在任中の行政行為の継続性は

**Q** 前市長の在任中になされた行政行為等の継続性について。  
**A** 平成23年度に策定した51項目の総合計画は、本市の将来を指すまちづくりの方向性を定める基本構想と基本計画の5年から10年の中期計画となっており、各種の事業を総合計画に沿って推進していく。個別の事業については、今後の予算査定などの場において、その時の立場で判断していきたい。基本的な政策の方向性や施策の取組については、前市長が総合計画に沿って実施してきた取組を継承していきたいと考えており、各種事業については全力で取り組んでいく。



▲市長公約と彦根市総合計画

**A** 前市長の取組を継承していく

**Q** 「美しいひこね 創造事業」の継続を

**Q** 前市長の公約からスタートした事業で、行政では目の届かない事もボランティアとして様々な分野で助けられているが、この事業に対する見解は。  
**A** 彦根を美しく元気にする事業で、市民の自主的活動であり地域活性化の担い手となり、良い影響を及ぼしている。  
**Q** 登録者数に対する見解は。  
**A** 18年の事業開始から毎年増加傾向にあり、本年3月末で5,067人。市内18才以上の20人に1人が登録され、市民に徐々に浸透している。  
**Q** 是非とも事業の継続を。  
**A** 事業を通じて多岐にわたる活動により、市が直接実施する事業費の捻出もなく、今後も事業を一層充実し、継続していきたい。



▲登録申し込みは、まちづくり推進室で

**A** 今後も事業を一層充実し、継続する

北村 收

馬場 和子





### しだれ桜のある 旧井伊神社の今後は

矢吹 安子



▲旧井伊神社

**Q** 寄附等の募金活動は、  
**A** 支援組織が中心となって  
寄附を募り、事業費の一部に  
充当できれば。

**Q** 旧井伊神社や文化財に愛着  
を持つ市民が中心となったNPOなどの支  
援組織を立ち上げていただき官民協働で積  
極的に進めていきたい。

**Q** NPOなど支援組織を立ち  
上げては。

**Q** 旧井伊神社は、井伊八幡宮  
と佐和山神社が合祀されたもの  
である。今年2月末に彦根市指  
定文化財となり、3月には多賀  
大社から寄贈を受けられた。こ  
の素晴らしい建造物を県指定に。  
**A** 県文化財保護課の担当者が  
現地を確認。協議を進め、県指  
定を目指す。



### NPOなどの 支援組織と官民協働で



### 中央図書館 新設整備構想は

西川 正義



▲老朽化が進む市立図書館

視野に、  
文化、  
交流、  
コミュニ  
ティの  
活動の  
拠点を  
目指し  
た整備  
を進め  
る。

を深め、図書館機能の再編を  
視野に、  
文化、  
交流、  
コミュニ  
ティの  
活動の  
拠点を  
目指し  
た整備  
を進め  
る。

**Q** 市長選公約の一つに中央図  
書館新設を掲げられているが、  
実現に向けての市長の構想を伺  
う。  
**A** 現在の図書館は、昭和54年  
に開設され、建物の老朽化が進  
んでいるとともに、地域の北部  
に位置していることから南部地  
域の市民には距離的に利用しづ  
らい環境である。そのため現在  
の図書館を補完し、ネットワー  
クで結ばれた図書館が市域の中  
央部に必要であり、整備については、湖東  
定住自立圏構想に基づき各図書館との連携



### 図書館機能の再編、 整備を進める



### 彦根観光資源の 有効活用と強化は

上杉 正敏



▲彦根観光協会前のスペース

現在の、市民団体の「彦根を映画で盛り  
上げる会」がボランティアス  
タッフやエキストラの取りま  
とめを行っているが、今後市  
独自でフィルムコミッション  
室の立ち上げに努める。

**Q** 彦根観光協会事務所の活用  
は。  
**A** 当事務所と観光バスの乗降  
場所である、いろは松駐車場は  
多くの観光客が訪れる国宝彦根  
城の玄関口に当たり、物産販売  
や簡単な飲食の提供など、おも  
てなしに適した位置と認識して  
おり、今後観光協会内部での議  
論を踏まえ、市としても有効活  
用について検討していく。  
**Q** 映画口ケ等の誘致に向けて  
の受け入れ体制は。



### 更なる観光客誘致に 全力で取り組む

安澤 勝

**Q** 8号・306号バイパスの進捗状況は

とから  
3年程  
度延伸  
され、  
平成31  
年度に  
なる見  
込み。



▲国道8号米原バイパス9工区(佐和山地区)

**Q** イオン開店に伴い、鳥居本  
地先の国道8号線は渋滞するが、  
8号バイパスの今後の見通しは。  
**A** 完成年度は平成28年度以降  
とのことだが、少しでも早い時  
期に供用できるように取り組んで  
いるところであり、本市も事業  
進捗に積極的な協力をしていく。  
また、佐和山町以南については、  
2市4町で組織している期成同  
盟会において国へ強く要望して  
いる。国道306号バイパスは、  
商業施設や住宅等が多くあり課題も多い。  
またトンネル工事に概ね4カ年を要するこ

**A** 早期完了、早期着手を  
目指していく

**Q** イオンの進出に  
住民合意はあるか

し入れを  
すべし。  
**A** 交通  
渋滞対策、  
青少年健  
全育成に  
ついて県  
に提出し  
たい。



▲渋滞の様子

**Q** 地元の交通対策を開店まで  
に解決すべき。  
**A** 自治会から要望書が出され、  
警察へも伝えている。  
**Q** つるやゴルフ店から彦根一  
Cまでのバイパス計画の進捗状  
況は。  
**A** 2市4町で要望中。  
**Q** 古沢から彦根一Cまでのバ  
イパス完成時期は。  
**A** 平成28年度から平成31年度  
完成に変更された。  
**Q** 日常的な渋滞地で、せめてバイパス完  
成まで営業開始の延伸と、早朝から深夜の  
営業時間は住宅環境を守り青  
少年の健全育成から変更の申

**A** 交通規制は警察へ、  
県へ意見提出も

山内 善男

**Q** 荒神山周辺を  
市民の憩いの場に

は。  
**A** 古墳の保護も兼ねて可能  
な範囲で検討したい。  
**Q** 林道の維持管理を。  
**A** 定期的な巡回により必要  
な維持管  
理を行う。  
**Q** 林道  
途中に休  
憩所を。  
**A** 林道  
の目的上  
できない。



▲荒神山

**Q** 今後の荒神山古墳の詳細な  
調査の予定は。  
**A** 遺構確認調査済みであり詳細  
調査計画未定。  
**Q** 荒神山古墳の活用は。  
**A** 小中学生の教材や地元と  
もにイベントや学びの機会を増  
やしていきたい。  
**Q** 荒神山山頂に早急に公衆用  
トイレの設置を。  
**A** 山頂には市有地や上下水道  
が無く課題も多いが、早期に検  
討を進める。  
**Q** 荒神山古墳の周囲に散策路を設置して

**A** 荒神山周辺資源の  
整備活用を図る

宮田 茂雄

田中 滋康



### 商店街リフォーム 助成に取組め



▲往年の賑わいが望まれる商店街

**Q** 群馬県高崎市が、4月から「まちなかりニューアル助成事業」を創設した。これは「店舗改装」や「店舗で使用する備品の購入」に対し、その費用の2分の1（上限100万円）を助成するもの。まちなかを活気あふれるものにするには、小さな店が元気になることであるとの考えだが反響も大きい。これを取り入れてみては。

**A** これまでは、商店街の組織としての取組を重視し、ファサード・街路灯整備やイベントへの補助等を行ってきた。高崎市の事例は、個店の活性化という面からも今後の動向を注視し、まちの活性化を図る方策を考える。

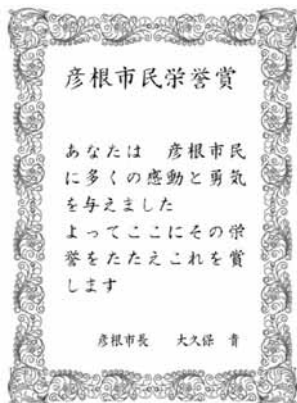


今後の動向を注視し、  
活性化を図る



### 彦根市民栄誉賞を 創設すべき

▶彦根市民栄誉賞（※イメージ画像）



**Q** 彦根市内には、スポーツだけでなく文化面でも世界で活躍する多くの逸材がいる事を考えると、彦根市民を著しく勇気や感動を与えた方をタイムリーに表彰できる彦根市民栄誉賞の創設をすべきと考えるがいかがか。

**A** 本市の主な表彰制度として「彦根市名誉市民」、「功労者」、「文化功績者」、「ひこねスポーツ賞」、「ひこにゃん子ども文化芸術大賞」を設けている。他の自治体において市民栄誉賞制度を設けておられる事例もあり、本市における既存の表彰制度との関連を整理しながら検討していきたいと考える。

赤井 康彦



検討していく



### 廃棄物の 最終処分場の確保は

ある。必要が度中に詳細を決める必要がある。



▲中山投棄場

**Q** 中山投棄場の埋立処分終了時期は

**A** 平成28年3月までで埋立終了まで2年9か月。

**Q** 次期最終処分場の建設計画は。

**A** 候補地が決定したとしても環境アセスメントや事務的期間も含めると6年程度の期間が必要。

**Q** 中山投棄場の閉鎖後の対応は。

**A** 圏域内で処理することが望ましいが、残された時間の中で、新たな処分場の建設は困難。民間処分場に委託するしか考えられない。また委託の場合、収集方法や分別区分ストックヤードの建設が必要であり、本年度中に詳細を決める必要がある。

小川喜三郎



中山投棄場終了後は  
民間処分場へ

徳永ひで子

**Q** 不育症の周知と助成への考えは



▶ 不育症のポスター

**Q** 流産を繰り返す不育症で悩んでいる人が16人に1人の割合でいる。検査をして適切に治療すれば8割の確率で出産にたどり着けると言われているが、不育症の事があまり知られていない事に問題がある。不育症の周知は。

**A** 現在不育症に関する広報等は実施していないが、今後は広報ひこねや市ホームページを活用し、不育症に関する様々な情報提供に努める。

**Q** 治療費が高額で経済的負担になっている。治療費の助成への考えは。

**A** 今後、国や県の助成金制度の動向、県内他市町の実施状況や成果を注視していく。

**A** 周知に努め、助成は動向を注視する

**Q** 在宅医療を支える医師の育成を



▲在宅医療の現場

**Q** 在宅医療を支える事業の推進は。

**A** 市内に5か所ある在宅療養支援診療所は、在宅療養されている方の診療を24時間体制で実施されている。在宅療養支援診療所の医師の疲弊に繋がらないような仕組みの構築が急務であると考えている。在宅医療を支える体制の整備、多職種連携を目的に、「ことう地域チームケア研究会」の立ち上げ、在宅医療で必要な医療機器の貸し出し、在宅看取りに関する市民への出前講座の実施等、在宅医療推進のための事業を拡大実施していく予定である。

**A** 在宅医療推進のための事業拡大を実施

辻 真理子

**Q** 子宮頸がんワクチンは危険なのか



▲健康推進課窓口

**Q** 子宮頸がんワクチンの効果と周知方法は。

**A** ウイルス（全てではなく2種類）への感染予防効果や主な副反応、接種しても成人後、定期的な検診が必要なことを書いた説明書を個人に通知。

**Q** 効果が期待できる人数は。接種者10万人に対し7人と推計。

**Q** 副反応は。

**A** サーバリックスでは10万人当たり62.5人、うち重篤な副反応は30.8人。

**Q** 接種の危険性をもっと周知すべきでは。

**A** 厚生労働省の勧告に従い、接種の積極的な勧奨中止を周知する。

**A** 積極的な接種勧奨はしない

北川 元氣

山田多津子



## 幼小中学校に エアコン設置の計画は

夏休み  
などを  
中心に  
順次設  
置して  
いく事  
になる。



▲授業中の風景（※イメージ画像）

**Q** 子ども達が安定した環境下で教育を受けることは、健康保持や学力向上に欠かせない条件である。これまでの議会でもクーラー設置を求めてきたが、今回の市長公約に大いに期待をする。実施に向けて現段階で設置手法等、どのような調査を行っているのか。また、設置計画の進捗状況は。

**A** 県内他市の取組状況の調査を行っており、今後は専門業者に設計委託をした後、工事手法や電力・ガス等の動力源の適用状況を精査し、検討していく。工事実施となれば、授業などの影響も考慮して、



## 長期休暇の夏休みに 順次設置を検討中

# 請願・陳情について

市政について、議会に要望する制度として、請願と陳情があります。

請願には、その趣旨に賛成する市議会議員の紹介（署名・押印）が必要です。提出された請願は、本会議と委員会とで審議されます。その結果は、議会から請願者にお知らせするとともに、採択した請願は、必要に応じて市長その他の関係機関に送付します。

請願を提出するときは、書式例にもとづいて、日本語で、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所、氏名（法人の場合は、その名称と代表者の氏名）などを書いて、押印のうえ議会事務局に提出してください。

なお、請願の提出期限は、事務処理上、定例会開会日から数えて通常4日目を締め切りとしています。この期限を過ぎたものは、次の定例会で審議されることになりません。

陳情には、市議会議員の紹介はいりません。提出された陳情は、その写しを議員全員に配布します。なお、陳情については、

書式例を定めていませんので、請願の書式例を参考にしてください。

### 請願書式例

……………に関する請願書

紹介議員  
氏名 ㊟

1. 請願趣旨

2. 請願事項

年月日

請願者  
住所 氏名 ㊟

彦根市議会議長 殿

### 「請願の記載要領」

1. 縦書き・横書きのいずれでも可。
2. 件名、趣旨、事項を簡潔に記載する。
3. 提出年月日、請願者の住所、氏名（法人の場合は、その所在地および代表者の氏名）を記載し、押印をする。
4. 請願書には、紹介議員一人以上の署名押印が必要。（ただし、陳情書の場合は、必要ない。）

# 議員表彰

全国市議会議長会会長および滋賀県市議会議長会会長から、次の5人の議員が表彰を受けられました。

## 10年表彰



山田多津子議員



赤井康彦議員



安藤博議員



八木嘉之議員



渡辺史郎議員

## 4月以降の彦根市への行政視察受け入れ状況

彦根市議会では、全国各地の市議会から行政視察を受け入れています。その状況についてお知らせします。

5月22日	千葉県山武市議会	新観光振興（ひこにゃん関連）事業について
5月22日	兵庫県三田市議会	空き家等の適正管理条例について
5月24日	群馬県前橋市議会	新観光振興（ひこにゃん関連）事業について
5月27日	徳島県鳴門市議会	新観光振興（ひこにゃん関連）事業について
5月28日	北海道旭川市議会	みらいロゴス21ひこねについて 商店街等の活性化について
5月29日	宮崎県日南市議会	新観光振興（ひこにゃん関連）事業について
7月1日	栃木県日光市議会	世界遺産登録に向けた取組について

## 編集後記

一昨年より議会改革に取り組みながら、議会報も手に取っていただき分かりやすく読みやすくなるように工夫してまいりました。今年度からはより読みやすく議会の内容が十分に市民の皆様へ伝わるよう、充実した編集に心がけていきます。

議会報編集委員会



## 本会議・委員会の日程（予定）

月日	内容	時刻
9月2日(月)	開会	午前9時
9月9日(月)	代表質問 個人質問	
9月10日(火)		
9月11日(水)		
9月12日(木)	予算特別委員会 企画総務消防常任委員会 福祉病院教育常任委員会	午後2時
9月13日(金)	市民産業建設常任委員会	
9月17日(火)	閉会	午前9時
9月19日(木)		

※ひこね市議会だよりは再生紙を利用しています。